

質 疑 要 旨

谷内律夫議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 自公連立政権について 発足から四半世紀が経過した自公連立政権に対する知事の所見を聞く。</p>	知 事
<p>2 自衛隊派遣について 長期かつ多岐にわたった災害支援活動について、どのように感じているか。</p>	知 事 危機管理監
<p>3 災害ごみ処理について 被災家屋の解体数は当初の予定より大幅に増えたが、十分に対応できるのか。</p>	知 事 生活環境部長
<p>4 1次避難所について 解消に向けては、避難者に対し、書面説明だけでなく、個別に丁寧な対応を行うことが必要だと考えるがどうか。</p>	知 事 復旧・復興推進部長
<p>5 能登半島地震復興基金について 知事には、強いリーダーシップを発揮し、復興基金を活用した能登の復興を牽引してほしいが、決意を聞く。</p>	知 事 復旧・復興推進部長
<p>6 仮設住宅や災害公営住宅について (1) 今回の補正予算に盛り込まれた支援策により、多くの仮設住宅で自治組織の活動が円滑に進むことを期待するが、所見を聞く。 (2) 被災者の声を受け、災害公営住宅の建設推進に向けて、県としても何らかの支援を行うべきだと考えるがどうか。 (3) 仮設住宅だけでなく、みなし仮設住宅の入居者や在宅の高齢者・障害者等に対しても、緊急通報システムの設置が必要だと考えるがどうか。</p>	知 事 復旧・復興推進部長 健康福祉部長 土 木 部 長
<p>7 制度の狭間にいる被災者への支援について 自宅が準半壊で仮設住宅に入居できずに悩んでいる被災者にも寄り添った支援が必要だと考えるがどうか。</p>	知 事 土 木 部 長

この質疑要旨は9月17日午後5時55分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨

谷内律夫議員 No. 2

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>8 仮設住宅の空き室対策について 空いた仮設住宅について、支援者や医療・福祉従事者の住まいに活用したり、入居者が柔軟に転居したりできるように、国に働きかけてほしいがどうか。</p>	<p>知 事 土 木 部 長</p>
<p>9 宅地のがけ崩れ対策事業について 自然斜面だけでなく人工斜面についても一定の要件を満たせば補助対象となることを被災自治体や被災者に周知し、事業を一層推進してほしいがどうか。</p>	<p>知 事 土 木 部 長</p>
<p>10 災害ケースマネジメントについて (1) NPO法人が行う建築士等の専門家のアウトリーチ支援がより活動しやすくなるよう、県としての支援を強化すべきだと考えるがどうか。 (2) 仮設住宅等における通所・在宅サービスの拠点でも専門家に相談できる場を設けるなど、きめ細かい支援が必要だと考えるがどうか。</p>	<p>知 事 復旧・復興推進部長 健康福祉部長</p>
<p>11 生業の再建支援について (1) 仮設商店街について、これまでに8地区で整備が進んでいるとのことだが、この事業についての所見を聞く。 (2) 県独自の営業再開支援補助金について、意欲ある事業者への周知を徹底し、推進すべきだと考えるが、所見を聞く。</p>	<p>知 事 商工労働部長</p>
<p>12 被災文化財の保全について (1) 文化財レスキューについて、県内外から幅広い支援を得られていると聞くが、どのように実施しているのか。 (2) 所有者の受入体制が整うまでは県などで保管してほしいとの声もあるが、所見を聞く。 (3) 指定外の貴重な文化財について、どのような保全・修復を行っていくのか。</p>	<p>教 育 長</p>

この質疑要旨は9月17日午後5時55分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨

谷内律夫議員 No.3

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>13 消防学校を中心とした総合的防災拠点について 県民の安全・安心のため、整備に向けてどのように取り組んでいくのか、今後のスケジュール、意気込みと併せて聞く。</p> <p>14 被災者との意見交換について (1) 知事はこれまで、被災地の住民から直接意見を聞いてきたが、どのような感想を持ったか。 (2) 地震や復旧・復興について、子どもたちとの意見交換の場も設けてほしいと考えるがどうか。</p>	<p>知 事 危 機 管 理 監</p> <p>知 事 復 旧 ・ 復 興 推 進 部 長</p>

この質疑要旨は9月17日午後5時55分に取りまとめたものです。